



### これは何でしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

- しめり 9月13日(木)必着
- あて先 〒7783 南園市大通甲二二〇一 南園市企画課親子クイズ係
- 賞品 正解者の中から抽選で5人の方に図書券を進呈
- ◎第280回親子クイズの答えは、うちわでした。
- 第280回当選者発表 (教林略)
- (応募総数30通)
- 前田茂子 (駅前町)
- 岡 明子 (大阪市)
- 溝淵元子 (浜改田)
- 横原道子 (回豊町)
- 金盛充宗 (小籠)

### ☆ 思い出がいっぱい ☆

◆私が子供のころには、まだクーラーは無く、扇風機も買えなかった。蒸し暑い夜は、寝つくまで母がうちわであおいでくれたことを思い出します。今は自分の子供を、うちわであおいでやることもない時代にかわりました。(菅原えみ子)

◆扇風機だけだったときよりもクーラーのある今のほうがうちわを使うことが多いのはなぜでしょうか。(溝淵元子)

◆小学生の学芸会で、「おーい、市太郎やーい」という劇をしました。ストーリーは忘れませんが、市太郎が兵役で丸亀港から船で出征するのを、母が見送りにかけつけたときには、船は岸壁から離れていました。それで村長役の私が「おーい、市太郎、聞こえたら銃を高くあげろ……」と言ったことを覚えています。丸亀がうらわの産地(と)はらくして習いました。(岡明子)

◆子供のころのうちわの骨組みはすべて竹か木でした。最近ではプラスチックが多いですが、やはり木が風情があります。あと、紙が和紙だったりすると、ほんとに日本の夏ですね。(浜田明子)



## 広場



### ベタングってなに?

最近、県民スポーツフェスティバルなどの種目にベタングという名を聞かせるようになりました。いったいどのような競技なのでしょう。そのベタングに取り組んでいる上大埔老人クラブ西部千寿会の上田啓子さん(大埔)からの投稿を紹介しましょう。

毎年、鈴虫を飼育している浜田信男さん(立田)。ふ化させた鈴虫を、知り合いの方などに分けてあげています。

その浜田さんが、鈴虫の飼育について次のように書いてくれました。

ベタングは南仏で生み出されたもので、最近では地中海沿岸諸国をはじめ、アフリカ、アメリカ、カナダ、タイなどでも愛好者が増え、国際的なスポーツになりました。わが国でも昭和四十三年ころ、映画監督の伊丹十三さんによって持ち込まれたとか。以来各地で競技会が開催されています。ベタングは特別な施設を必要とせず、ルールも簡単なもので、誰でもどこでもすぐプレーできます。ピュントと呼ばれるピンポン玉大の標的球に向けて、七百回の前後の鉄球を投げ、いかに近付けることができれば、二チームで争う競技です。

私たち上大埔老人クラブ西部千寿会では、ベタングを今年五月から始めました。毎週日曜、午前七時から約二時間、十曜市が開催されている広場で楽しいひとときを過ごしています。

鈴虫の音色も聞きとれぬほど耳が遠くなりながらも、飼育を続けるのは、毎年私がふ化させるのを待つてくれる人がいるからです。飼いはじめから、三十数年休んだ年はありません。ふ化しなかった年もありましたが、あげた人の中でふ化させてくれた人もいましたから、もらってきても、さも自分でふ化させたような顔をしてあげたこともありま。

交配させる虫を探すのに苦労します。鈴虫は鳴くのでなくて、はねを振って「ブーンブーン」の涼しい音色を出すのです。だから健康な虫で

## みんなの



なくては、五阪り六阪りの音色がないようです。来年のために、今年には帯屋町の小鳥店でオス虫を買ってあげよう。

近親交配を防ぐために大阪から取り寄せた虫との交配で生まれた虫だと店三から聞いたからです。一昨年は、大分の別府からとり寄せて交配すると、「よう鳴く」と大変喜んで

くれました。小鳥店の店主の言葉を信じて買いました。メスは安いけど、もし交尾したら、うちの虫と交尾しても、なんにもならないからです。飼っている方は「私は何年も前からずうっと飼っています」と言ってくるとその虫と交配していない方がほとんどです。



鈴虫も飼育の箱を運ぶかど  
今年のふ化の少なさに思う

浜田信男

楽しかった夏休みも終わり、残暑に負けず、みんな元気に学校に通っているでしょう。

さて、この夏、みんなどんな過ごし方をしたのかな。一生懸命勉強した人、毎日プールで泳いだ人、いろんな過ごし方があったと思います。学校などではいろんな教室が開かれたようです。そんな中から、次の二つの教室を紹介します。



七月二十七日に岡豊小学校で開かれた親子クッキング教室には、親子九組、二十五人が参加。参加した子供たちは、地元的生活改善推進委員などに指導してもらいながら、慣れない手つきでの色紙作業、わいわいにぎやかにカレー、デザートなどを作りました。



八月一日、二日に大漢小学校で、約三十人の子供たちが参加して行われた園工教室。一日目は夢の絵画。天気調節機やテストの答がわかる眼鏡、月まで行ける夢の橋など楽しい夢を絵に描きました。二日目は工作。けん玉、グライダー、万華鏡をみんな夢中になって作りしました。